



研修内容を市国際まつりで発表

ホストファミリー大募集

市では、海外姉妹都市からの青少年訪問団員など、ホームステイを希望する外国人を受け入れていただける「ホストファミリー」を随時募集しています。あなたも登録して、身近な国際交流を体験してみませんか。

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域交通・交流係)

☎ 0220 (22) 2173



市公式ホームページ
「登米市国際交流ホストファミリーバンク」



心温まる見送りのメッセージ



ホストファミリーとの別れ



シドニー市のオペラハウス前で記念撮影



セントメアリー大聖堂を見学



座ると幸せに？マッヨリーズチェア

令和7年度
登米市青少年
海外派遣事業

出会いと学びの オーストラリアの旅



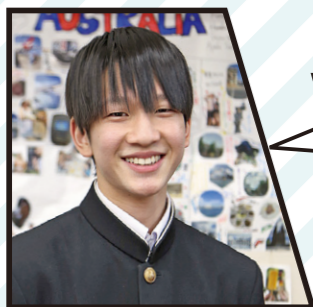
旅のスケジュール

- 10月22日 登米市を出発
- 23日 ブリスベン空港着、フレザーコースト市へ
- 24日 オルドリッジステイトハイスクールの生徒と交流、本市の魅力をプレゼン
- 25日 終日、ホストファミリーと交流
- 26日 ホストファミリーと別れ、シドニー市へ
- 27日 市内見学、オーストラリアを出国
- 28日 登米市に到着、帰着式

令和7年10月22日から28日までの7日間、登米市青少年海外派遣団員として、市内の青少年12人が、オーストラリアのフレザーコースト市とシドニー市を訪問しました。

団員らは、本市と友好確認書を締結しているオルドリッジステイトハイスクール学生宅でのホームステイや、現地学生との交流などを通して、現地の文化を体験。その貴重な経験の一部を、写真と感想文で紹介します。

海外派遣を終えて



海外で学んだ
大切なこと

石越中3年
千葉 昊さん

ホームステイ先でシャワーの使用時間を聞いた時、「できれば3分で」と言われ、とても驚きました。オーストラリアは乾燥大陸のため、水は貴重な資源です。普段何げなく使っていた水が、当たり前ものではないのだと気付く機会になりました。

また、ホストファミリーと交流を深める中で、英語を聞き取ることの難しさや、自分の気持ちを伝えることの大切さを学びました。ジュスチャーなどを交えながら自分の思いを相手に伝えることができた経験から、他国の人たちとのコミュニケーションでは、完璧な文法も重要ですが、それ以上に「伝えようとする気持ち」が大切だと感じました。

今回の海外派遣を通して、このような貴重な体験ができたことに心から感謝しています。

世界とつながる
貴重な経験

佐沼高2年
菅原 莉心さん

ホストファミリーは私を一人の家族として迎え入れ、毎日の食事や何気ない会話の時間を大切にしてくれました。慣れない環境で英語がうまく話せず不安だった私に、「ゆっくりで大丈夫！」と何度も声をかけてくれて、そのおかげで家族の存在の大きさと温かさを改めて実感できました。

研修の全てが思い出ですが、特に印象に残っているのはシドニーのオペラハウスです。建物が想像以上に大きく、写真では分からないスケールの大きさや迫力を直に体感できました。

今回の研修で、私は自分の目で見て感じる、異文化に触れ、外国の人と関わることの大切さや楽しさを学びました。この経験を糧に、今後は何事にも積極的に取り組んでいきたいです。



英語ゲームで仲を深める



オルドリッジステイトハイスクールの生徒と交流



フレザーコースト市のジョージ・シーモア市長と「メアリー・ポピンズ」像の前で記念撮影



版画アート制作を体験



登米市の魅力をプレゼン
篠笛の演奏や寸劇などを披露